

学びの主体者は子ども

変化の激しい時代を生き抜くために子どもにどんな力を育みますか。そのために園・学校ができることは何でしょう

つなぐ

幼児期に総合的にはぐくまれた資質・能力や子どもの成長を
各教科の特性に応じた学びにつなげ、認知能力・非認知能力を一体的に育む

保育所・幼稚園・こども園 小学校・義務教育学校・中学校 高等学校・高等教育機関等・大学

架け橋期

アブローチカリキュラム
スタートカリキュラム

9年間を見通した教育

義務教育で身に付けた力をさらに伸ばす

子どもの学びはつながっていますか。各園・校等がともに育てたい資質・能力を共有し、具体的な取組や効果的な連携を進められていますか

【組織づくり】

子どもの学びを組織で推進

○子どもの学びをつなぐ

- ・校種間をつなぐ
- ・年齢、学年間をつなぐ
- ・担当、教科、分掌をつなぐ
- ・教師同士がつながる

○子どもを見取る

- ・子どもの学びの状況を見取る
- ・教師の「見取る力」は授業（保育）研究で付ける

○主体性を引き出す環境構成

- ・物理的な環境
- ・教師のかかわり

○教師も主体的に探究心をもって学び続ける

- ・教材研究
- ・OJT OJL



「深い学び」の視点

- 知識・技能を関連付ける
- 見方・考え方を働かせ、知識・技能を活用する
- 考えを形成する
- 思考して問い続ける
- 学ぶ意義・おもしろさを実感する

主体的に 学び考える力

多様な人と つながる力

新たな価値を 生み出す力

主体的・対話的で深い学び

を通して見られる子どもの姿

子どもの頭の中がアクティブに働いていますか

「主体的な学び」の視点

- 学ぶことに興味・関心をもつ
- 見通しをもつ
- 粘り強く取り組む
- 自己調整を発揮する
(振り返り、次にいかす)

「対話的な学び」の視点

- 多様な手段で説明する
- 考えを比較・関連付ける
- 様々な視点で議論する
- 協働して課題解決する
- 思考を広げ深める

学び続けようとする



目まぐるしく変化していく社会において、変化を前向きにとらえて主体的に行動し、よりよい社会と幸福な人生をつくりだせる人
(京都府教育振興プラン)



【授業づくり】

心が動く授業の展開

○主体的・対話的で深い学びを実現する単元デザイン

- ・児童生徒が「自ら学びとる」授業への転換
- ・単元で付けるべき資質・能力の育成（学習指導要領×子どもの実態）
- ・単元ゴールの明確化
- ・教科の「見方・考え方」を意識して指導
- ・指導と評価の一体化（目指すべき目標・評価の設定、学びの評価、振り返り）
- ・言語能力の育成
- ・探究的な学びの充実
- ・個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実
- ・ICTの効果的な活用への転換

○質の高い授業づくり

- ・5つの提言とチェックポイント



「京都丹波の推進プラン」や「質の高い授業づくり」の説明を南丹教育局 HP に掲載しています

幼児期の育ちや学びを 学校教育につなぎ さらに伸ばす

幼児期の終わりまでに育ってほしい

10の姿

健康な心と体

自立心

協同性

道徳性・規範意識の芽生え

社会生活との関わり

思考力の芽生え

自然との関わり・生命尊重

数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

言葉による伝え合い

豊かな感性と表現



一人一人が力を発揮できる安心・安全な環境